

問題

他形式のファイルに変換すると、透過ハッチングが前面に表示される場合や「ブラシ 50%」「斜め格子」等の模様が塗りつぶしとなる場合があります。

対象製品

「V-nas」シリーズ全般

回答

塗りハッチングの「透過設定」「ブラシ」は、V-nas 独自の設定であるため、SXF 形式ファイル等、他形式ファイルに変換すると保持できません。

操作手順

対象コマンド：

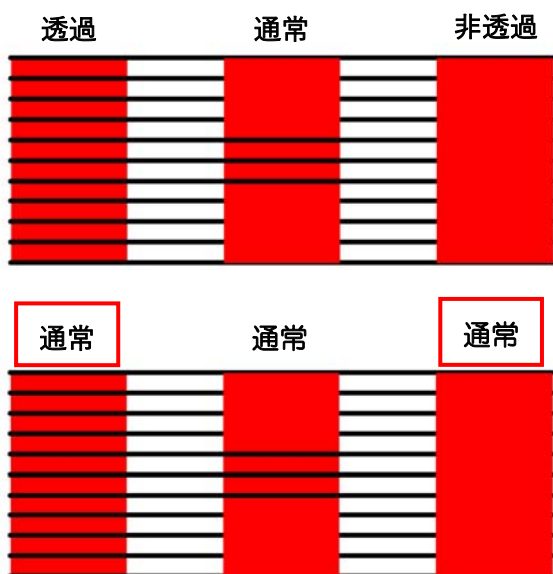
[V-nas 標準モード]：[編集] タブ - [ハッチング] カテゴリ - 『ハッチングタイプ変更』コマンド

[V-nas クラシックモード]：『編集 - ハッチング - タイプ変更』コマンド

[専用 CAD シリーズ]：『編集 - ハッチング - タイプ変更』コマンド

専用 CAD シリーズ

「モード」グループの[透過(非透過)]は使用せず、[通常]のハッチングで作図後、『編集 - 最前面へ移動/最背面へ移動』コマンドを実行して描画順を調整してください。



最背面へ移動を使用

最前面へ移動を使用

[透過][非透過]の場合は他形式ファイルに変換の際、描画順が保持できない場合がありますが[通常]の場合は描画順の保持が可能です。

モード

- 透過
- 非透過
- 通常

既存要素は『編集 - 変更』『編集 - タイプ変更』にて[通常]モードへ設定します。

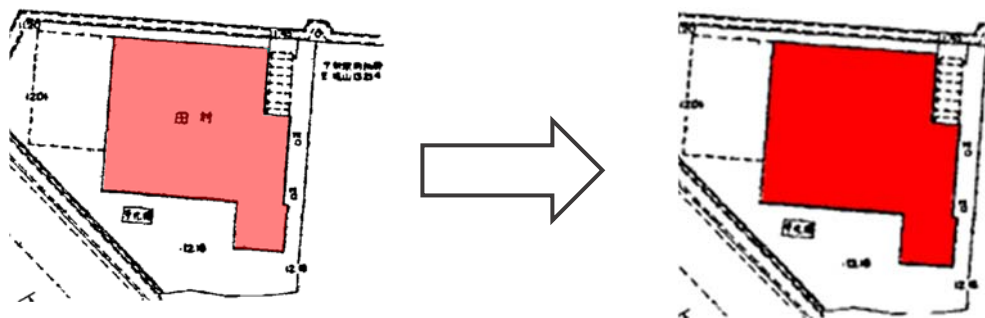
V-nas/V-nasClair 2000 シリーズ

○透過について

「透過」グループで透過率の設定は使用せず、下記方法でご対応ください。

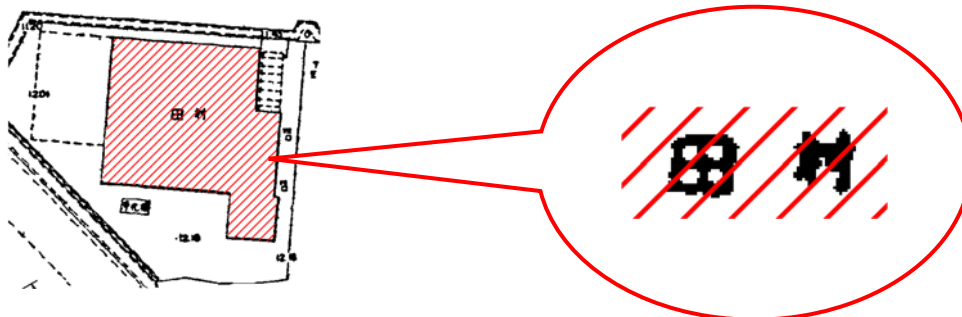
・透過率 50%の赤のハッチングを設定した場合

他形式ファイルに変換の際、[透過しない]ベタ塗り赤のハッチングになります。(AutoCAD ファイル形式へ変換した場合は情報を保持できます)



対処1：斜線ハッチングを設定します

『編集-ハッチング-タイプ変更』コマンドを実行し、タイプを塗りハッチングから斜線ハッチングへ変更します。



斜線ハッチングの斜線の隙間から
要素が見えている

・対処2：ハッチングの描画順を最背面へ設定します

CAD 要素やモノクロラスターの上に作図しているハッチングの場合は、「透過しない」ハッチングに変更した後、『編集-最背面へ移動』コマンドで描画順を最背面に移動することでも対応できます。

[透過しない]ハッチングの
描画順を最背面に移動する



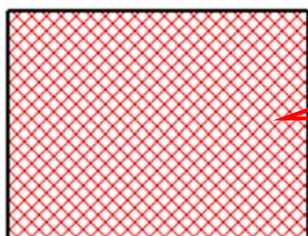
○ブラシの濃度について

塗りハッチングで「ブラシ」グループの75%、50%、25%は使用せず、既存の色から近い見た目になるものをご使用ください。

例えば[青色、ブラシ 50%]ではなく[水色]、[緑色、ブラシ 50%]ではなく[黄緑色]等、原色ではなく中間色を使用してご対応ください。

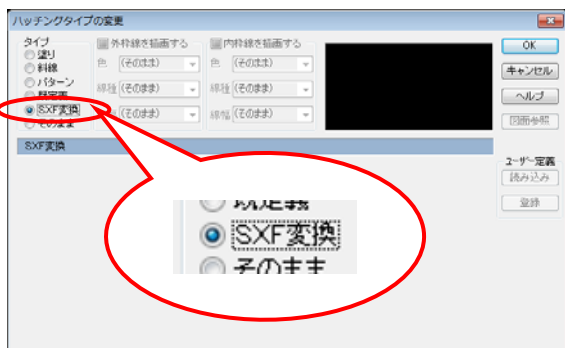
○ブラシの模様について

塗りハッチングで「ブラシ」グループの[格子][斜め格子]といった斜線模様のブラシについては、塗りタイプではなく斜線タイプのハッチングをご利用いただくか、作図後、『編集-ハッチング-タイプ変更』コマンドでタイプを[塗り]ラジオボタンから[SXF(変換)]ラジオボタンに編集することで、見た目をほぼ同じに保って、他形式ファイルに保存することが可能です。



ブラシ：斜め格子の塗りタイプのハッチング
(他形式ファイルに変換すると、
赤色の塗りつぶしのハッチングになる)

- 1、『編集-ハッチング-タイプ変更』コマンド実行後、ハッチングを選択し、右クリックします。
- 2、[SXF(変換)]ラジオボタンを選択して[OK]ボタンを押します。

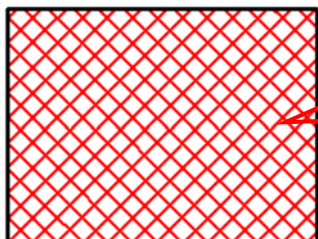


V-nas 専用 CAD シリーズ



V-nas/V-nasClair Ver.2000 シリーズ

- 3、SXF ファイルに変換しても、見た目を保持できるハッチングへ変換します。
任意で格子間隔を設定したい場合は斜線ハッチングへのタイプ変更を行ってください。



ブラシ：斜め格子の場合、
斜線間隔 1.2mm の斜線ハッチングに
変換されます。